



主催：特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
北海道教育委員会 道民カレッジ連携講座（地域活動コース）指定
後援：札幌市，札幌市教育委員会，一般社団法人北海道地質調査業協会，北海道高等学校理科研究会

北海道総合地質学研究センター 第6回公開講座

豊平川の洪水を考える

札幌の母なる川 豊平川の過去150年間の洪水の歴史を振り返り，
その痕跡をたどる

その1（座学）：2019年10月12日，その2（野外観察）：2019年10月27日



写真：2014年10月29日 洪水後の幌平橋付近の砂州

その1（座学）：2019年10月12日（土曜）13:30-15:30（定員30名）北海道立道民活動センター か
でる 2・7 620 会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

その2（野外観察）：2019年10月27日（日曜）12:00-16:30（定員25名）真駒内から苗穂にかけて
豊平川沿いを移動し，洪水の痕跡を観察（11:45 地下鉄真駒内駅集合，16:30 JR札幌駅解散）

その1のみの受講も可能ですが，その2の参加者には事前に予備知識を得ていただきたいので，
その1も受講されるようお願いします

講師：宮坂省吾（北海道総合地質学研究センター）

参加費：その1は1,000円，その2は3,000円（保険代と集合・
解散場所間の移動経費を含む）．高校生以下は半額

参加申込先：office@hrcg.jp もしくは 080-5830-2016

申込期限：2019年10月10日（それ以前でも定員になり次第受付
を終わりますが，余裕があれば前日まで受け付けます）

- この講座に申し込まれた方の個人情報は当研究センターの
プライバシーポリシーに従い，適正に管理いたします
- この講座の実施経費の一部に札幌市からの「札幌市さぽーと
ほっと助成金」が充てられます

道民カレッジ連携講座
（地域活動コース）単位
認定
北海道地質調査業協会
CPD 証明書 発行

札幌市
さぽーとほっと基金
助成事業



特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
(<http://www.hrcg.jp/>)

この講座では、札幌市で想定される自然災害のうち 洪水災害を紹介します。その1（座学）では豊平川の洪水史と地形・堆積物について、その2（野外観察）では真駒内～苗穂間で洪水現象の痕跡を解説します。

その 1（座学：洪水の歴史） 10月12日（土） 13:30-15:30（かでる 2・7 620 会議室 開場 13:15）

- 1) 豊平川が伏籠川から切り離された巨大洪水と扇状地形成史
- 2) 明治～大正時代の豊平川の氾濫：旧河道や分流口を起点とした洪水
- 3) 1913（大正2）年に発生した“大正大洪水”：扇状地の扇頂域の破壊、扇央～市街での氾濫
- 4) 1981（昭和56）年8月の“昭和大洪水”：山地小河川や豊平川の氾濫

その 2（野外観察：最近百年間の洪水痕跡を訪ねる） 10月27日（日） 12:00-16:30 地下鉄真駒内駅 11:45 集合、JR札幌駅 16:30 解散

下記 7地点の「ジオ散歩」をします

- ① 真駒内南町：洪水に耐えたヤナギ
- ② みゆき通り：1913年洪水の網状流路
- ③ 南19条大橋：1981年洪水堆積物
- ④ 南大橋：高水敷の侵食痕跡
- ⑤ 豊平橋：1909年洪水による中州
- ⑥ 一条大橋左岸：自然堤防の地形
- ⑦ 雁来の河跡湖：1913年洪水の名残り

ご注意

- ・小雨でも実施します。降雨予報時には雨具・長靴等を持参ください
- ・ヘルメットは不用ですが、頭を保護する帽子などをご用意ください

講師プロフィール

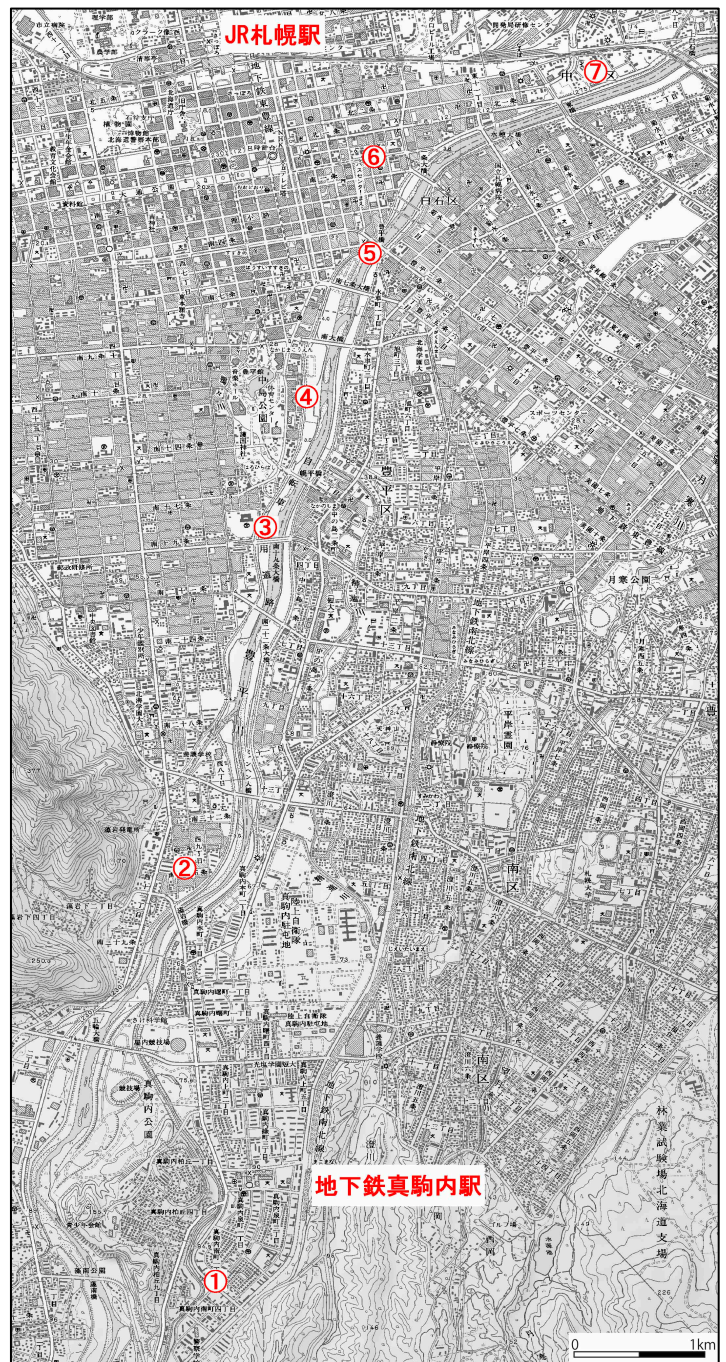
宮坂 省吾（みやさか せいご）
北海道総合地質学研究センター シニア研究員

略歴

長野県生まれ、札幌市在住
1967年 北海道大学理学部 卒業
1971年 明治コンサルタント(株) 入社
1987年 「後期新生代における日高山脈上昇史」により学位（理学博士）取得

著書

「札幌の自然を歩く（第3版）」（共著）
「北海道自然探検 ジオサイト107の旅」（共著）
「揺れ動く大地 プレートと北海道」（共著）
「札幌の地名がわかる本」（共著）



北海道総合地質学研究センターでは公開講座等の情報を不定期発行のメールマガジン（HRCG Newsletter）で配信しています。講読をご希望の方は office@hrcg.jp 宛にお申し込み下さい。